

様式第7号

議長	副議長	局長	次長	係長	

行政視察報告書

令和 4年 10月 18日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 藤井 義明 (印) 議員 (印)
議員 (印) 議員 (印)
議員 (印) 議員 (印)

下記のとおり全国都市問題会議に出席したのでその報告します。

記

【1】第84回全国都市問題会議

住 所	長崎県長崎市尾上町4-1
電 話	095-801-0530
視察案件	第84回全国都市問題会議
期 日	令和4年10月13日(木) 8時30分から 14日(金) 12時00分まで
応 対 者	参加者名簿のとおり
状 況	別紙写真のとおり
訪問施設	出島メッセ長崎
概 要	<p>第1日目 10月13日(木)</p> <p>9:30 開会式 開会挨拶 全国市長会会長 福島県相馬市長 立谷秀清 開催市市長挨拶 長崎県長崎市長 田上富久 来賓挨拶 長崎県知事 大石賢吾</p> <p>9:50 基調講演 民間主導の地域創生の重要性 株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO 高田旭人</p> <p>11:00 主報告 長崎市の魅力ある街づくり 長崎県長崎市長 田上富久</p>

- 13:30 一般報告 地域との新しい関わり方・関係人口
島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美
- 14:50 一般報告 ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～
山形県山形市長 佐藤孝弘
- 15:50 一般報告 「交流の産業化」を支える景観まちづくり
～長崎市景観専門監の取り組み～
一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高尾忠志

第2日目 10月14日(金)

パネルディスカッション

【テーマ】個性を活かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

【コーディネーター】 東京都立大学法学部教授 大杉覚

【パネリスト】 ゆとり研究所所長 野口智子
山梨大学生命環境学部教授 田中敦
NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野耕一
岐阜県飛騨市長 都竹純也
兵庫県伊丹市長 藤原保幸

11:50 閉会式 時期開催市市長挨拶 青森県八戸市長 熊谷雄一
閉会挨拶 公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長
小早川光郎

基調講演・各報告・パネルディスカッション等の内容については、全国市長会発行冊子に詳細は起債のとおり。

人口減少社会が到来し、それぞれの地域において様々な問題、課題が山積している。今回の会議では、個性を生かして「選ばれる」まちづくり、何度も訪れたい場所になるために、現在、それぞれの自治体で行っている取組について発表、報告があった。

日本全体で人口が減少している中、一つの自治体だけが人口を獲得することは、社会全体の幸福につながらない。人口増加・交流人口の増加が目的ではなく、住んでいる人々がいかに心豊かにそして安心して暮らし続けていける街にするかであり、いろいろな施設を作ることや、様々な事業を行い、目指す社会に到達することが大切である。

選び続けられるまちになるためには、まず住んでいる人々が適度な距離感でコミュニケーションが成りたつ社会を構築できるかどうかのポイントである。人口を取り合うのではなく、それぞれの自治体で共有するような取組が必要となってくる。

定住（人口増）に主を置く政策からの転換が必要な時期に来ている。この会議を通じて学んだ知識について今後の市政運営に活かしていきたい。

概 要